

令和6年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立江之子島文化芸術創造センター	指定管理者：enoco 文化創造プロジェクト	指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日	所管課：府民文化部 文化・スポーツ室 文化課
-------------------------	------------------------	-------------------------	------------------------

評価項目 ＜評価基準＞	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の 指摘・提言		
		評価	評価	評価	評価			
		S～C	S～C	S～C	S～C			
I 提案の 履行 状況 に関 する 項目	(1) 施設の設置目的及び 管理運営方針 ＜評価基準とすべき事項＞ ・施設の設置目的に沿った 運営 ・提案された管理運営方針 に沿った管理 ・社会貢献活動、環境活 動、法令順守の取り組み	■府立江之子島文化芸術創造センター（以下、 「enoco」）の設置目的に基づき、設立背景やこ れまでの実績を踏まえた管理運営を遂行し、文化 芸術拠点の機能強化を図れているか。 ■令和6年度の事業計画の管理運営方針及び重点方 針のとおり、取り組んでいるか。 ■運営目標で活動の三本柱として掲げている「現代 美術の振興」、「交流・活動・協働機会の創 出」、「次世代への継承・発展」に基づいた運営 ができているか。 ■施設での年間を通しての状況を把握すると共に良 好な管理運営がなされているか。また、enoco な らではの場づくりと運用に努め、主体的な創造活 動と交流の機会を提供できているか。 ■enoco の管理運営を通して、社会貢献活動、環境 活動、法令順守の取り組みができているか。	■「enoco 文化創造プロジェクト」が指定管理者として enoco の運営に関わり3年目を 迎え、enoco 設立の背景やこれまでの実績を踏まえた enoco 独自の管理運営業務を遂 行し、文化芸術拠点としての機能強化を図ることで、文化芸術を享受する基盤を拡大 し、あらゆる人々が文化を通じて、いきいきと活動できる都市をめざし「現代美術の 振興（connection）」、「交流・活動・協働機会の創出（communication）」、「次 世代への継承・発展（cocreation）」の3本柱を掲げ、以下の事業を実施してきた。 ■令和6年度の重点方針 ・収蔵作品のコンディションチェックに努め、大型立体作品についても外部専門家と連 携して管理作業を行った。 ・文化庁の助成金事業へ応募。その採択により収支の改善を図った。 ■運営目標について 「現代美術の振興（connection）」 企画展の実施や、大阪国際文化芸術プロジェクトと連携した“書”の作品出展などを 通じた幅広い層に関心を持ってもらえるコレクション活用や、音楽と美術コレクショ ンが融合した展示やトークイベントなどを実施。 「交流・活動・協働機会の創出（communication）」 ・enoco が人と情報が集まる交流・活動・協働の拠点となるために、アーティスト・イン ・レジデンスや企画展「くりかえしとつみかさね2」などのイベント時に関係機関 と連携を図ることができた。 ・小澄源太展「意味のないことにも意味はある」では関連企画として近隣の特別養護老 人ホームにて入所者の方々と一緒に大きなお面を作るワークショップを実施。 ・大学からの学芸員実習の受け入れや海外大学との交流、「イケフェス大阪2024」への 参加、タレントを使ったワークショップなど、積極的な交流に努めた。 「次世代への継承・発展（cocreation）」 ・9月には、企画展「くりかえしとつみかさね2」の展示作品を用いて、西区内の小学 生を対象に対話型美術鑑賞「見て・みて・エノコレ！」を実施。 ・10月～1月にかけて各月1回、アートを楽しみながら文化を継承・発展させ、次世代 を育む子ども向けワークショップを実施、2025年3月にその作品展を開催予定。 ・11月には、近隣小学校の「街探検」授業で40名の児童を受け入れ、enoco につい ての質疑応答と、4階のライブラリーやギャラリーでの展示会の見学を行った。 ・子どもたちの居場所づくりとして「アートな自習室 こどもミートルーム」を実施。 稼働の少ない貸室の利用率の向上と、子どもたちが“アート”に触れ合う機会を創 出。 ■主体的な創造活動と交流の機会の提供 地下の多目的ルームをフリースペース「こどもミートルーム」として開放し、アート を通じた子どもたちの場づくりを創出。また地下フリースペースには「こどもミート ルーム」の夏休み特別企画で制作した作品「enoco 塗り絵」を設置。 ■社会貢献活動、環境活動、法令順守 ・施設利用者やイベント参加者などのアンケートを、二次元コードからデータで取得す る形式を取り入れるなど、館内のペーパーレス化に努めた。 ・館内について、防災設備の確認や避難通路の確保など消防法に違反がないか常にチェ ックを心がけている。 ・館内スタッフに向けたコンプライアンス研修を実施し、法令遵守の意識啓発に努めて いる。	A		・センター設立の背景やこれまでの実績を踏ま え、文化芸術拠点の機能強化をめざした事業計 画のもと、運営を行っている。また、昨年度か ら引き続き、現代美術に関心がない人に関心 を持ってもらえるよう、他の分野とのコラボレ ションをするなど、取り組みを推進している。 ・重点方針について、事業計画に基づき取り組む ことができている。	A	

<p>(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平なサービス提供、対応 ・障がい者・高齢者等への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ■enoco 利用者が公平に利用できるように、内規やマニュアルを整備し、適正に運営を行っているか。 ■障がい者、高齢者等に対する配慮や利用援助が適切になされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■職員に対して複数のテーマでの館内研修を実施するとともに、利用規定やマニュアルの内容を周知徹底し、過去の慣習にとらわれず利用者が公平に利用できるように努めるとともに、定期的にご利用いただいている方には見直し内容を丁寧に説明し理解を得るなど、公平公正な施設運営に努めた。 ■障がい者、高齢者等に対しても、丁寧な対応を行い、館内サインも見やすくわかりやすいものに改善し、利用しやすい施設運営に努めている。 (例：新たに筆談ボードを購入) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職場研修の実施等により、公正公平な施設運営に努めるとともに、障がい者や高齢者にも利用しやすい施設となるよう努めている。 	A	
<p>(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加のための工夫 ・利用者数 ・利用者満足度調査結果 (総合満足度の前回調査との比較等) 	<ul style="list-style-type: none"> ■主催事業及び貸館事業において、これまで enoco を利用していなかった人たちに、新たに enoco を利用していただけるような運営を行っているか。 ■アンケート結果を利用するなど、センターの利用者等が増加するような取り組みを行っているか。 ■enoco の認知度向上及び利用者増加のために、ホームページ・SNS・紙媒体等の様々な媒体を使用し、ユーザー層を鑑みた効果的な広報ができていますか。 ■誰にでも分かりやすい言葉を用いた広報に努めているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■主催事業 ・アーティスト・イン・レジデンス Vol.2 enoco short stay art purogram(ESSAP) ESSAP は、enoco を文化芸術の拠点として更に充実させ、人との、芸術が行き交う場づくりにより地域の活性化をめざしたもので、関西を拠点に活動する若手アーティストに無償で創作拠点を提供し、成果発表としてトークイベントやワークショップ、作品の展示を実施した。今年度は、宮木亜菜さんがレジデンスアーティストとして滞在し、5月はオープンスタジオ、6月は成果展を開催、11月には成果記録冊子を発行した。 ・エノコアートラウンジ vol.7～12(5月から11月、毎月1回)(8月は延期) コレクションの一部展示し紹介しながら、参加者と一緒にアートについて自由におしゃべりをするラウンジを提供。各回では、個々の作家に焦点をあて、その作家にゆかりのあるゲストを迎えた。Vol.10 では、スペシャル版として大阪府咲州庁舎内展示作品を紹介。 ・こどもアーツカレッジ2024(10月から1月、毎月1回) 今年度は、”自然に学ぶ“をテーマに、さまざまなジャンルの若手アーティストを講師に迎え「かんがえる」「つくる」にチャレンジするワークショップを実施。ワークショップの成果作品と、講師の作品を同時に展示する展覧会を3月に実施予定。 ・「情報紙」 6月 enoco 情報紙 Vol.4 を発行し、大阪府の施設、プレス約 900 社に送付。また、Facebook ほか SNS で告知し、HP 上で閲覧できるように対応した。 <p>◇主催企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小澄源太展「意味のないことにも意味はある」 昨年、OsakaMetro 阿波座駅「アートな精霊」プロジェクトでウォールアートを制作した小澄氏が、これまでに制作してきた作品や、初展示となる新作のほか、彼がコレクションから選定した作品と、その作品に呼応した新作を展示。今回、OsakaMetro の協力による各駅でのチラシ配架や、enoco YouTube チャンネルでの小澄氏本人による展覧会場レポート配信を実施した結果、入場者は 938 名に上り、これまで enoco に来られなかった方々へ訴求することができた。 また、enoco 館内、近隣の特別養護老人ホームでのワークショップの実施や、大阪教育大学附属特別支援学校児童・生徒との対話型鑑賞を通じて、enoco の認知度向上に繋がった。 ・「20 世紀のイメージとサウンド2～音楽でたどる大阪府の美術コレクション」 立川直樹名誉館長のプロデュースで FM COCOLO と連携し 8 月～9 月にかけて開催。立川名誉館長の出演ラジオ番組、ラジオスポット、HP で告知したこともあり、入場者は 1,535 名だった。 また、関連イベントとして SUPER AUDIO LIVE やトークイベント(ヤノベケンジ×立川直樹)を開催。参加者の中には初めて enoco を訪れた方が多く、効果的な PR ができ、音楽を通じた新しいアートな展覧会として定着させることができた。 トークイベントの様子は enoco YouTube チャンネルにて当日生配信及びアーカイブを配信。 ・「くりかえしとつみかさね2 センス・オブ・ワンダー～大阪府 20 世紀美術コレクションと現代作家たち～」 コレクション作品に加え、障がいのあるアーティストの支援等を行っているプロジェクト capacious の協力のもと、大阪府下で活動する 5 人の障がいのある現代作家の作品を展示。(文化庁「令和 6 年度障害者等による文化芸術活動推進事業」の採択事業) 関連イベントとして、甲南大学服部教授の講演会や、西淡路希望の家金武啓子氏、capacious 宮本典子氏とのトークセッションを開催。 <ul style="list-style-type: none"> ■認知度向上のための広報活動 ・こどもミートルームの夏休み特別企画「こどもぬりえルーム」を 8 月 1 日(木)～25 日(日)で開催。朝日新聞の取材を受け、8 月 17 日(土)に大阪版の朝刊に掲載された。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会内容を工夫するとともに、enoco YouTube チャンネルにおけるイベントのライブ配信や、Facebook への企画展の紹介動画の掲載など、SNS の活用を通じて、新たに enoco を認知、利用してもらうことをめざした取り組みを行っている。 <p>◇主催企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小澄源太展「意味のないことにも意味はある」では、府コレクションとアーティストの作品とのコラボレーションという新たな展開によって、新規の来場者を獲得することができた。 ・「20 世紀のイメージとサウンド2～音楽でたどる大阪府の美術コレクション」では、様々な媒体を活用した広報活動を実施することができた。 ・「くりかえしとつみかさね2 センス・オブ・ワンダー～大阪府 20 世紀美術コレクションと現代作家たち～」では、文化庁「令和 6 年度障害者等による文化芸術活動推進事業」の採択事業となり、障がい者による文化芸術活動の推進に資することができた。 ・認知度の向上を図るため、ホームページや SNS を使用した迅速な広報を行っている。 	A	

	<p>【目標値】</p> <p><利用者関連></p> <p>◇来館者数延べ 120,000 人</p> <p>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 900 件</p> <p>◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 400 件</p> <p><参考>令和5年度実績（目標）</p> <p>◇来館者数延べ 112,903 人（95,000 人）</p> <p>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 916 件（700 件）</p> <p>◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 376 件（220 件）</p> <p><貸館関連></p> <p>◇ルーム1～4（展示室）貸館利用率 目標 60%</p> <p>◇ルーム5～12（多目的室）貸館利用率 目標 60%</p> <p><参考>令和5年度実績（目標）</p> <p>◇ルーム1～4（展示室）貸館利用率 54.1%（60%）</p> <p>◇ルーム5～12（多目的室）貸館利用率 50.8%（65%）</p>	<p>出来上がったぬりえ作品は、地下フリースペースと4Fルーム3にて展示。</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展「くりかえしとつみかさね2」では、Facebook に館長が案内する360度動画をアップし、来館できない方へもアプローチすることができた。 「チーム関西・WARAI MIRAI FES 2024 リユース・アートワークショップ～未来にとどけ!みんなのチカラ～」では、5月18日(土)、19日(日)の2日間、チーム関西各社より提供されたリユース素材を使用し、アート作品を制作するワークショップを実施。制作した作品は、5月31日(金)～6月2日(日)まで難波千日前にある LAUGH&PEACE ART GALLERY で展示された。 ターゲットを絞った SNS の活用・告知を実施。Instagram は若い世代(10～30代)、Facebook は(40～60代)をターゲットとし、事業実施の際は網羅的に告知を行った。また、Instagram のストーリーを投稿する際は、各事業で主にターゲットにしている年代が、目にしやすい時間帯をねらいアップロードを行った。フレッシュさを保つ為、事業中や終了後、毎日1投稿をしている。特に海外でも需要の多い Instagram では、投稿専用のデザインも考慮し、人の目につきやすい仕組みと仕掛けに取り組んでいる。 主催事業に関しては、PRTIMES や ArtSticker、Koubo など、メールニュースや各自主事業に適した総合サイトへの依頼を行い、新たな客層への宣伝・告知を行っている。今年度は、4月から8月まで毎月事業リリースを配信した。 近隣地域には、ケーブルチャンネル Baycom 「週刊 Bay ニュース」に告知依頼し訴求に努めた。 事業実施の案内などを各福祉施設へ送付した。 「20世紀のイメージとサウンド2」のトークイベントや小澄源太個展「意味のないことにも意味はある」など企画展の動画を enoco YouTube チャンネルにアップしたうえで、HPのトップページでの配信やFacebook を始め SNS で告知し広報・宣伝に努めた。 10月より毎月第一金曜日に「見て・みて・エノコレ!通信」と題して、コレクション収集作家とその作品、関西の若手アーティストを紹介する動画を、enoco YouTube チャンネルにて配信し、収集コレクションの広報と若手アーティストのプロモーションに努めている。 <p>【実績値】12月末現在（（）内は、目標値）</p> <p><利用者関連></p> <p>◇来館者数延べ 95,225 人（120,000 人） 達成率：79%</p> <p>◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数 989 件（900 件） 達成率：110%</p> <p>◇enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数 549 件（400 件） 達成率：137%</p> <p><貸館関連></p> <p>◇多目的ルーム1～4（展示室）貸館利用率 65.4%（60%）</p> <p>◇多目的ルーム5～12（クリエイティブルーム・シェアルーム含む）貸館利用率 54.8%（60%）</p>	<p><利用者関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者数は目標値の達成が見込まれている。「文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ人数」と「enoco との創造的活動を協働した個人・団体等の数」は12月時点で目標値を上回っている。来年度も引き続き来館者数等の増加に繋がるよう、効果的な広報を行うとともに、より魅力ある事業内容としていただきたい。 <p><貸館関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 貸館利用について、多目的ルーム1～4については目標値を上回っているが、多目的ルーム5～12については目標値を下回っている。来年度以降、効果的な広報活動を通じて利用率の向上に努めていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 貸室事業のルーム6、9の利用率について、昨年度と同様に低調なので、利用率を高められるような工夫について検討いただきたい。
--	---	--	---	--

	<p><利用者満足度調査（アンケート）関連> ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 450 以上。 アンケートの結果 プラス評価 80%以上。 ◇貸館関連アンケート有効回答数 90 以上。 アンケートの結果 プラス評価 80%以上。 ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数参加者の 8 割以上。 アンケートの結果 プラス評価 80%以上</p> <p><参考>令和 5 年度実績（目標） ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 516 (300) ◇貸館関連アンケート有効回答数 105 (80)</p> <p><認知度向上（広報）関連> ◇web サイト全体の総セッション数 110,000 回/年 ◇メールニュース配信者数 2,500 件（者） ◇Facebook のフォロワー数 3,700 件 ◇X のフォロワー数 2,200 件 ◇Instagram のフォロワー数 2,000 件 ◇SNS 配信回数 70 回/年（イベント関連以外） ◇SNS 配信回数（イベント告知）200 回/年 ◇SNS 配信回数（イベント状況等配信）220 回/年 ◇メディア（WEB 含む掲載数） 240 媒体以上/年</p> <p><参考>令和 5 年度実績（目標） ◇web サイト全体の総セッション数 115,838 回/年（100,000） ◇メールニュース配信者数 2,065 件（2,500） ◇Facebook のフォロワー数 3,549 件（3,700） ◇Twitter のフォロワー数 2,014 件（2,200） ◇Instagram のフォロワー数 1,499 件（2,000） ◇メディア（WEB 含む掲載数）269 媒体/年（130）</p>	<p><利用者満足度調査（アンケート）関連> ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 912（450 以上） 達成率：203% アンケートの結果 プラス評価 94%(80%以上) ◇貸館関連アンケート有効回答数 100（90 以上） 達成率：111% アンケートの結果 プラス評価 96%(80%以上) ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数 達成率：78% （参加者の 8 割以上） アンケートの結果 プラス評価 94%（80%以上）</p> <p><認知度向上（広報）関連> ◇web サイト全体の総セッション数 累計 102,497 回（110,000 回） 達成率：93% ◇メールニュース配信者数 平均：2,125 件（2,500 件） 達成率：85% ◇Facebook のフォロワー数 平均：3,564 件（3,700 件） 達成率：96% ◇X のフォロワー数 平均：2,070 件（2,200 件） 達成率：94% ◇Instagram のフォロワー数 平均：1,721 件（2,000 件） 達成率：86% ◇SNS 配信回数 累計 114 回（70 回/年（イベントの P R は別途実施）） 達成率：163% ◇メディア（WEB 含む掲載数） 累計 302 媒体（240 媒体以上） 達成率：126%</p>	<p><利用者満足度調査（アンケート）関連> ・「主催展覧会関連アンケート」については、有効回答数、プラス評価ともに目標値を上回っている。 ・「貸館関連アンケート」については、有効回答数、プラス評価ともに目標値を上回っている。 ・「子どもを対象としたイベント関連アンケート」については、有効回答数は目標値と同程度であり、プラス評価については上回っている。 ・アンケートへの回答アンケートの結果をまとめて、適宜施設運営に反映している。来年度も継続することで利用者数の増加に努めていただきたい。</p> <p><認知度向上（広報）関連> ・「web サイト全体の総セッション数」は、通年ベースであると目標値を上回っている。 ・「メールニュース配信者数」「Facebook のフォロワー数」「X のフォロワー数」「Instagram のフォロワー数」は、目標値をやや下回っている。 ・「SNS 配信回数」については、目標値を大きく上回っている。 ・「メディア掲載数」についても、目標値を上回っている。 ・メールニュース配信者数や SNS フォロワー数について目標値を下回っているため、来年度に向けて運用方法を検討いただきたい。 ・今年度はメディア掲載数の増加が、初めて enoco に来館した人数の増加に繋がっていたので、来年度以降も継続して取り組んでいただきたい。</p>	
<p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p> <p><評価基準とすべき事項> ・魅力的なプログラムの開発 ・接遇研修実施回数・参加者数 ・提案された利用時間延長等の実施状況</p>	<p>「現代美術の振興」 <<コレクションの保管・管理>> ■作品の適切な管理を行っているか。また、展示・貸出の際は、作品保護についても考慮し、展示・貸出を行っているか。 ■コレクションについて、定期的に点検・清掃を行い、修復等が必要な場合は記録及び報告を行っているか。 ■コレクションについて、順次、現物と台帳の確認を行い、破損等について記録及び報告を行っているか。</p> <p>【目標値（コレクション保管・管理関連）】 ◇コレクションの現物と台帳の確認 2,000 点/年</p>	<p>「現代美術の振興」 <<コレクションの保管・管理>> ・保管している美術コレクションに保険をかけ、適切な保管・管理に努めている。美術コレクションの内容に精通した学芸員を常勤 2 名配置するとともに、過去にコレクションの管理等にかかわり経緯を知っている学芸員を非常勤で配置し、点検、清掃、修復など指導を仰いでいる。 ・展示、貸出しの際には、展示条件を確認する等、作品保護についても考慮している。 ・長期貸出作品の状態確認を実施（大阪国際がんセンターなど）。 ・外部貸出作品の修復対応を実施。 ・コレクションの現物と台帳の確認について、四半期毎に記録や報告を適正に行った。</p> <p>【実績値（コレクション保管・管理関連）】12 月末現在（（）内は、目標値） ◇コレクションの現物と台帳の確認 626 点（2,000 点）達成率：31.3%</p>	<p>B</p> <p><<コレクションの保管・管理>> ・コレクションについて、適切な保管・管理に努めている。収蔵庫の空調運転状況などについても、適正に報告を行っている。 ・コレクションの現物と台帳の確認については、次年度以降も文化課と協議を行いながら、計画的に進めていただきたい。 ・府事業と連携して、コレクションの点検、修復に関する業務に取り組むことができている。</p>	<p>B</p> <p>・作品の現物と台帳の確認について、目標達成だけではなく、学芸員の負担管理も注意して進めていただきたい。 ・作品の現物と台帳の確認のスケジュールリングが適切か</p>

	<p>《コレクションの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■美術館・大学・地域・産業界等と連携し、様々な場所での展示機会を創出し、コレクションを活用しているか。 ■enoco 内での展示をはじめ、府関連施設・美術館・公共施設・民間企業等の多くの人々が利用する場所にコレクションを貸し出し、府民にコレクションの鑑賞機会を提供できているか。 ■ICT を活用した新たな鑑賞方法の導入等、様々な手法を用いてコレクションを活用できているか。 ■展示作品等、活用の状況を enoco ホームページ等で発信できているか。 ■これまでに展示や貸出を行ったことがないコレクションを積極的に活用できているか。 <p>【目標値（コレクション活用関連）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇活用点数 1,300 点以上 ◇企画展 2 回以上/年 	<p>《コレクションの活用》</p> <p>◇外部貸出（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本生命病院にコレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時 2 点(年 6 回展示替え) ・ANA 大阪国際空港(伊丹空港)にコレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時 6 点(年 2 回展示替え) ・大阪国際がんセンターと連携し、「アートな病院プロジェクト」と位置づけ、院内における美術コレクションの管理や掛け替え、案内パンフレットの制作等を実施。 コレクション作品展示数：103 点(R6.12 末現在) ※R7.2 展示替え作品数 67 点予定 ・株式会社大洋工芸/初田製作所にコレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時 5 点(年 4 回展示替え) ・大阪労災病院にコレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時 8 点 ・その他、ホテル・府立施設・府庁内等に展示 <p>◇外部貸出（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンgresクエア中之島 常時 2 点(年 2 回展示替え) ・曾根崎地下歩道 9 点 ・大阪府立中央図書館 1 点 <p>◇他施設展覧会・イベント等への貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西大学博物館「関西大学の美術家たち」4 点 ・芦屋市立美術館「創立 100 周年記念 信濃橋洋画研究所がもたらしたもの」1 点 ・滋賀県立美術館「BUTSUDORI」展 ・9 月開催 大阪国際文化芸術プロジェクト「OSAKA ART Showcase Leading To 2025」9 点貸出 ・10 月開催 大阪国際文化芸術プロジェクト「EXPO ART & MUSIC WEEKEND」での「EXPO OSAKA “書道” COLLECTION」にて 7 点貸出。 <p>◇主催企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024 年 7 月 4 日(木)から 28 日(日) 小澄源太展「意味のないことにも意味はある」を開催 展示活用作品 6 点 入場者数 938 名 アンケート回収 525 枚 ・2024 年 8 月 9 日(金)から 9 月 8 日(日)「20 世紀のイメージとサウンド 2 ～音楽でたどる大阪府の美術コレクション～」を開催 展示活用作品 34 点 入場者数 1,535 名 アンケート回収 39 枚 ・2024 年 9 月 13 日(金)から 10 月 19 日(土)「くりかえしとつみかさね 2 センス・オブ・ワンダー～大阪府 20 世紀美術コレクションと現代作家たち～」を開催 展示活用作品 39 点(ほか現代作家作品 91 点) 入場者数 1,143 名 アンケート回収 240 枚 <p>【実績値（コレクション活用関連）】12 月末現在（ ）内は、目標値）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇活用点数 1,272 点(1,300 点以上) 達成率：98% ◇企画展 3 回(2 回以上) <p>【今年度末までの活用予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪国際がんセンター展示替え 67 点(予定) 		<p>《コレクションの活用》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示の継続だけでなく、貸出先と連携を深め、展示替えを積極的に実施できている。 ・文化施設である芦屋市立美術館、関西大学博物館や、民間施設であるコンgresクエア大阪中之島といった、様々な施設でのコレクション展示を実現することができている。 <p>◇活用点数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用点数については、目標値を上回る見込みである。また、企画展実施についても、目標値を上回っている。 		<p>どうか、府と共に検証するのがいいのではないか。</p>
	<p>「交流・活動・協働機会の創出」</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多目的ルームの貸出しにあたり、多様なニーズに対応し、質の高いサービスの提供に努めているか。 ■割引サービスなども含め、わかりやすい募集チラシの作成、発信や、SNS 広告等の活用等、戦略的 	<p>「交流・活動・協働機会の創出」</p> <p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多目的ルームについて ・多目的ルームの貸出しについては、多様なニーズに対応し新規の顧客開拓につなげるため「若年層割引」を実施。また、一般利用者のイベント、展覧会スケジュールを HP に、展示会の様子を Instagram にそれぞれ紹介し広報宣伝に協力をしている。また、メールニュースを月 1 回発行（配信者数約 2,000 件/月）しイベントや貸館利用について紹介をしている。 	A	<p>《貸室の利用の承認等、貸出に関する業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ルームの貸出しについて、アンケート結果を活用するなど質の高いサービスの提供に努めている。 ・メールニュースや SNS の配信を行い、貸室の利用を促進するなど、幅広い層が利用できるように努めている。 ・利用料の減免については、審査委員会を設置 	A	

	<p>な広報を行い、新規利用者の開拓を含め、より幅広い層が利用できるよう促進に努めているか。</p> <p>■適正な減免を行っているか。</p> <p>■幅広い文化芸術に関する情報収集・情報発信ができてきているか。</p> <p>■多様な人・組織、府内市町村等からの文化芸術に関する相談に対し、アドバイスや情報提供等を行うワンストップ窓口を設置し、適切に運用できているか。また、ワンストップ窓口に関して、効果的な周知・広報ができてきているか。</p> <p>■センター周辺の地域と連携しながら、地域に開かれた施設となり、住民に身近に感じられる施設運営ができてきているか。</p> <p>■enoco のファンづくりに努めているか。</p> <p>■幅広いアーティスト等が活躍できる場を提供するとともに、連携を図れているか。</p>	<p>■利用促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> enocoHP TOP ページに「よくある質問 (FAQ)」欄を設けて貸室利用者からよく頂く質問に答える内容としている。 利用者に気持ちよく利用して頂けるよう、頂いた意見を都度検討しながら出来る範囲で柔軟に対応するよう努めている。 <p>例) 貸出備品や展示室搬入時における柔軟な対応など また、施設内での情報共有を密に行い、どのスタッフでも不足なくスムーズに対応できるよう日々の引継ぎやご案内内容の統一に努めている。</p> <p>例) 申し送り用に slack のアプリを活用し、利用者さまそれぞれの対応方法の共有や前日の申し送りなどをきめ細やかに行っている。</p> <p>前期に導入した Air リザーブにより、利用者に対応する際に、検索・発見の精度が上がり、従来の待ち時間が短くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシやフライヤーについてはデザインの専門担当者と企画の担当スタッフが各事業にあった書体や色彩、構成に気を配り制作した。 <ul style="list-style-type: none"> 新規利用者には、HP での文化・芸術相談窓口「エノコンシェルジュ〜そうだ enoco に聞いてみよう〜」にて問い合わせがしやすい環境を整えている。 展示会場の探索、イベントの企画、講座・教室の開催における提案、専門家や大学、スタジオなどの紹介、広報をおこなう上でのポイントや各依頼場所についてなど、幅広い相談へ対応できるよう柔軟に取り組んでいる。 <p>■適正な減免について</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸館における利用料の減免については、館内に審査委員会を設置し、利用目的や内容を評価して厳正に審査を行った。 <p>〈全額減免〉計 1 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪特別支援教育諸学校造形教育研究会 (2024/7/30-8/4 「第 45 回子どもたちの讃歌展」) <p>〈半額減免〉計 3 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府福祉部 高齢介護室 介護支援課地域支援グループ (2024/6/4-9 「大阪府シニア美術展」) 大阪府中学校文化連盟 (2024/8/29-9/1 「大阪府立中学校総合文化祭美術展」) HOSPITAL ART from GALLERY (2024/11/26-28 「ひといろプロジェクト」) <p>◀交流・活動・協働の拠点づくりに関する業務▶</p> <p>■文化関係機関等とのネットワークの構築・連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学芸員実習 甲南大学から学芸員資格取得をめざす学生 1 名を受け入れ、8 月から 9 月にかけて計 7 日間、企画・運営業務に従事。 新任教員研修 大阪市総合教育センターの依頼で、採用 2 年目の教員 2 名を、2 日間受け入れ、運営業務に従事。 <p>■情報収集・情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報紙「enocoVol. 4」を 6 月に発行 10 月より enoco YouTube チャンネルにて「見て・みて・エノコレ! 通信」の配信を開始。企画展や 20 世紀美術コレクション、若手アーティストの紹介などを配信。(再掲) 事業実施の際には、ターゲットを絞り SNS 等を活用し告知を行っている。(再掲) 貸館利用者と協議し、enoco 事業との連携を図ることができた。 <p>■ワンストップ窓口について</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エノコンシェルジュ〜そうだ enoco に聞いてみよう〜」HP に文化・芸術相談窓口「エノコンシェルジュ〜そうだ enoco に聞いてみよう〜」を実施。 <p>【12 月末時点：13 件】</p> <p>実績：大阪府下市職員</p> <p>内容：日本現代音楽の作曲家などで活躍された方の遺族より資料（楽譜や音源データ（オープンリールなど）など）の寄贈有り。適正な取扱いについて相談。</p> <p>➡大阪アーツカウンシルに相談の上、音源のアーカイブ化について国会図書館の歴史的音源アーカイブ「れきおん」の事例を紹介した。</p>	<p>し、利用目的や内容を評価して、不平等な取扱いがないように適切に運営している。</p> <p>◀交流・活動・協働の拠点づくりに関する業務▶</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学や公共機関など、新たな文化関係機関とのネットワークを構築することができている。 地域との連携については、隣接する日本生命病院、近隣小学校、社会福祉施設等との連携に取り組んでいる。 enoco のファンをつくるため、今まで実施したことない屋外北側スペースでイベントを開催するなど、新たな取り組みができてきている。 幅広いアーティスト等が活躍できる場を提供するため、アーティスト・イン・レジデンスの実施や、ワークショップに若手アーティストを起用するなど取り組んでいる。 	
--	---	--	---	--

		<p>実績：市内催事団体 内容：『明治安田生命クオリティオブライフ文化財団』の伝統文化継承のための助成金への申請にあたり、各都道府県教育委員会または知事部局の文化関係所管課の推薦について相談。 ➡大阪府文化課に相談の上、「大阪市教育委員会事務局総務部文化財保護課」ほか数か所の申請窓口を紹介した。</p> <p>実績：大学院生 内容：大学院の研究でストリートアートと社会の関係について研究しており、そのような活動を行っている団体について紹介依頼。 ➡おおさか創造千島財団、国土交通省近畿地方整備局 西成 Wall Art Nippon、渋谷区「受託事業者」一般社団法人 CLEAN&ART 等を紹介した。</p> <p>実績：AWAZA COLOR FESTIVAL 実行委員会 内容：大阪市西区、阿波座・立売堀エリアの地域活性化と文化交流を目的としたイベント『AWAZA COLOR FESTIVAL 2024』の2025年に開催予定の第2回に向けた相談。（第1回は9/28に開催） ➡第1回目を見学に伺い、課題点などのディスカッションを実施した。</p> <p>■住民に身近に感じられる施設運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外北側スペースの活用 8月 近隣の家族連れが気軽に参加できる「エノコ de 緑日」を実施。放課後等デイサービスや障がい者生活介護事業「西淡路希望の家」にブース出店でご協力いただき、昼間の4時間程度で約300名の集客ができた。 ・地下フリースペースの活用 4月 江之子島の歴史と enoco の紹介、まるむし商店磯部氏制作クレイアニメ「こども110番・5つの約束」を大型モニターで放映 9月 同上内容に「アートな精霊プロジェクト」メイキングと、「こどもアーツカレッジ」告知を追加し放映 5月～11月 enoco や収蔵作品と関連したトークイベント「エノコアートラウンジ」を月1回開催 ・新たな施設運用展開 「アートな自習室 こどもミートルーム」 稼働の少ない多目的ルームをこどもたちの居場所作りの為に活用した。土日を自習室として無料で提供。 オリジナルの塗り絵やアートに関する書籍、施設内備品(折紙・スケッチブック・色鉛筆等)も無料で貸し出し、アートに触れ合う機会の場とした。 ・センター周辺の地域との連携 隣接する日本生命病院において、コレクションを常時展示。 コレクション作品展示数：常時2点(年4回展示替え)(再掲) 広教連合振興町会への参加 西大阪治水事務所、OsakaMetro との連携 「アートな精霊プロジェクト」 昨年、アーティスト小澄源太氏と一緒に近隣の小学生たちとトコトコダンダンにてライブペインティングを実施。完成した作品を OsakaMetro 阿波座駅 8号出口地下通路にて2027年3月末まで掲示。 <p>■enoco のファンづくり 以下のような連携や事業を実施し、enoco の認知度向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪国際文化芸術プロジェクト」との連携 10月12日(土)・13日(日) enoco 出張ワークショップ「ハンドメイドのオリジナルキーホルダーを作ろう!」 万博記念公園で開催された「EXPO ART & MUSIC WEEKEND～Road to 2025～EXPO STREET CAMP」の会場に enoco ブースを展開し、昨年人気のあった下記ワークショップを実施。 よしもとアート芸人サルインと一緒に、ハンドメイドのキーホルダーを制作。テンプレートデザインの表面は enoco 収蔵作品の模写の塗り絵。裏面は、自由に描き、オリジナルキーホルダーを製作。両日共に予定参加数に到達。皆さん喜んで塗り絵をされて、アンケートの満足度は非常に高かった。 参加人数：2日間で100名、アンケート：127枚 ・「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2024」と連携 10月26日(土)・27日(日) ▶1階工業会館当時の面影の残るエントランスの紹介 ▶4階ライブラリーに工業会館当時のエントランスに設置されていた、アールデコ調 		
--	--	--	--	--

		<p>のガラスレリーフの実物 5 枚を展示</p> <p>▶当館資料展示および閲覧、解説パネル設置 ▶入場者：両日で 303 名(昨年 186 名)</p> <p>■アーティスト活動の場の提供 アーティスト・イン・レジデンス (Vol.3 ESSAP) の募集。 一昨年度、昨年度に続いて 3 回目の enoco short stay art program 事業の募集を実施。 2025 年 4 月より、若手アーティストに多目的ルームをスタジオとして貸し出し、創作活動の支援を行う事業。2024 年 11 月に募集、国内外から、昨年の 12 名を超える 15 名の応募があり、審査の上 1 名を採択。</p>		
	<p>「次世代への継承・発展」 《文化芸術の担い手育成等に関する事業》 ■作品発表の機会を提供する等、若手アーティストの活動機会の創出を通じて、文化芸術拠点としての役割を担っているか。 ■子ども向けのワークショップや、学生向けの鑑賞教室等を実施し、子どもや学生が文化芸術に関心を持つ機会の提供ができてきているか。 ■若手アーティストや地域の子どもたちと連携し、センター内に留まらず江之子島周辺で文化芸術に関する取り組みができてきているか。</p> <p>《enoco の歴史を次世代に継承する事業》 ■江之子島周辺地域の歴史を、建物の魅力を活用し伝えていく取り組みができてきているか。</p>	<p>「次世代への継承・発展」 《文化芸術の担い手育成等に関する事業》 ■小澄源太展「意味のないことにも意味はある」の関連イベントとして「コドモもオトナも！精霊のお面づくり」ワークショップを実施。年齢の垣根を越えて芸術に触れあい刺激を受けていた。 ■対話型美術鑑賞授業「見て・みて・エノコレ！」 ・5/3(金)大阪教育大学特別支援学校の児童・生徒に対話型鑑賞授業をルーム 12 で、enoco 作品 4 点を展示して実施。 ・企画展「くりかえしとつみかさね 2」の展示作品を用いて、大阪市内の小学校を対象に対話型鑑賞を実施。 ①9/17(火)午前、18(水)午前 本田小学校 3 年生 参加人数 136 名 ②9/17(火)午後、18(水)午後 明治小学校 4 年生 参加人数 89 名 ③9/20(金)午前、西船場小学校 4 年生 参加人数 70 名 ④9/19(木)、26(木)、大阪教育大学特別支援学校対話型美術鑑賞授業実施 ■アーティスト・イン・レジデンス ・Vol.2 ESSAP の開催と、Vol.3 ESSAP の募集 (再掲) ■enoco での子ども向けワークショップ ・こどもアーツカレッジ 子どもたちの表現力と創造力を育むことを目的に小学生を対象としたアートプログラム。今年度は、4 名のアーティストを講師として招き、「自然に学ぶ」というテーマに沿って体験するプログラムを実施。開催時期に合わせて各講師を enoco YouTube チャンネルで紹介。全 4 回のプログラム終了後の 3 月には「こどもアーツカレッジ作品展」を実施し、講師となったアーティストの作品も展示する予定。 [今年度参加人数] ①10 月 12 日(土)「いろんな糸、むすんだり、とおしたり、ぐるぐるしたり」(堤加奈恵) : 13 名 ②11 月 23 日(土祝)「みんなの周りに落ちている自然と木端を組み合わせてゆらゆらモバイルを作ろう！」(山西杏奈) : 13 名 ③12 月 21 日(土)「布ぐるみに絵を描いて、自分だけのお守り人形を作ろう」(天牛美矢子) : 13 名 ・地下フリースペースに夏休み特別企画で制作した「enoco 塗り絵」を設置。(再掲) 【今後開催予定の事業】 ・こどもアーツカレッジ 1/25(土)「雲を作る-自分だけの雲を作って、空に浮かべてみよう」(寺岡海) 3/16(日)「こどもアーツカレッジ展覧会 2024」会期中にワークショップ実施(山本麻紀子) ・エノコアートラボ(大阪府 20 世紀美術コレクション作家を招いたワークショップ) 2/1(土) エノコアートラボ「片山みやびガラスワークショップ」</p> <p>《enoco の歴史を次世代に継承する事業》 ■江之子島周辺地域の歴史や建物の魅力の活用 ・生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2024」と連携 (再掲) ・江之子島の歴史と enoco の紹介を大型モニターで放映</p>	A	A
			<p>《文化芸術の担い手育成等に関する事業》 ・「対話型美術鑑賞授業」、「こどもアーツカレッジ」等の子ども向けワークショップが実施できている。 ・「こどもアーツカレッジ」や「アーティスト・イン・レジデンス」にて、若手アーティストの活動機会の創出を行うことができた。今後も次世代育成について、様々な年代に適した事業を実施していただきたい。</p>	

	<p>【目標値（次世代への継承・発展関連）】</p> <p>◇子どもたちを対象にしたイベント5回以上/年</p> <p>◇アンケート有効回答数 参加者の8割以上。アンケートの結果 プラス評価80%以上（再掲）</p>	<p>・11月、近隣小学校の児童たちが学校行事で来館した際に、enocoの建物や歴史について紹介して、ライブラリーのレリーフの見学と説明を行った。</p> <p>【実績値（次世代への継承・発展関連）】12月末現在（ ）内は目標値</p> <p>◇子どもたちを対象にしたイベント8回（5回以上）達成率：160%</p> <p>◇アンケート有効回答数 78%（参加者の8割以上）</p> <p>アンケートの結果 プラス評価94%（80%以上）</p>				
	<p>「自主事業の実施」</p> <p>■enocoの収益性を高め、より充実した施設運営を可能とする財源の確保に努めているか。</p> <p>■センター利用者の増加や、enocoの認知度向上に繋がるような事業内容に取り組んでいるか。</p>	<p>「自主事業の実施」</p> <p>■自主事業の収益性と利用者増加・認知度向上につて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月11日(土)、「もりやすパンパンビガロの楽しいアートMAGIC ROOM～変わる！魔法の絵画～」を実施。1日2回、参加者計48名。 ・5月18日(土)、19日(日)、「リユース・アートワークショップ～未来にとどけ！みんなのチカラ～」を実施。1日2回、参加者は父兄を入れて計88名。（再掲） ・11月28日(木)、昨年につき「笑い飯哲夫のお正月しめ縄作り体験教室」実施。42名参加。 ・2月23日(日)、「エノコアートラボ 片山みやび ガラスワークショップ」を実施予定。1日2回、定員計30名。 	A	<p>・引き続き自主事業に取り組み、収益の増加や認知度向上に努められたい。</p>	A	
	<p>■センタースタッフへの接遇研修や人権研修等を実施し、来館者に対し丁寧な対応ができていますか。</p>	<p>■スタッフへの接遇研修や人権研修等、来館者への丁寧な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフに以下のテーマでコンプライアンス研修を実施し、人権意識の向上および社会人としての当事者意識や責任感の向上を図った。 ・「今、知っておくべきハラスメント対策について」 ・「SNSポリシーについて」 ・「地震、火災の事例紹介と災害発生時の行動について」 ・「消防団の活動紹介」 <p>また、スタッフミーティングを行い、パワハラ防止や、接客面での改善点など意見を共有するとともに、今までの利用規定やマニュアルを見直し、利用規定に変更があった際には、利用者に対し丁寧な説明を行った。</p>	A	<p>・スタッフへの研修や来館者への丁寧な対応が行われている。引き続き利用者サービスの向上に務められたい。</p>	A	
<p>(5) 施設の維持管理の内容、的確性及び実現の程度</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・点検・補修の的確性、迅速性 ・定期点検の実施状況 ・職員研修の実施回数・参加状況 	<p>■センターの維持管理、安全管理、補修等が的確、迅速に実施されているか。</p> <p>■防災・安全対策等について、危機管理体制を確立し、研修等を行い適切な対応ができる体制がとられているか。</p> <p>■定期点検を適切に実施できているか。</p>	<p>■センターの維持管理、防災・安全対策等、定期点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・enocoの維持管理に必要な各種点検について、年間実施計画に基づいて予定通り実施することができた。 ・府が施工する3階収蔵庫の空調設備改修工事について、府と協力し12月～2月にかけて実施予定。 ・現場責任者の下、緊急体制を整えて連絡網を整備し、危機管理体制を確立している。 ・年2回、テナントも参加する消防訓練を実施。 	A	<p>・センターの維持管理や防災・安全対策、定期点検について適切に行われている。</p>	A	
<p>(6) 府施策との整合</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案の実施状況 ・就職困難者の雇用状況 ・知的障がい者等の現場就業及び職場定着支援等の実施状況 	<p>■府の実施する施策等と十分に連携し、効果的かつ効果的な運営を行っているか。</p> <p>■府の実施する事業への支援協力を積極的に行っているか。</p> <p>■知的障がい者等の現場就業が実現できているか。</p> <p>■府が実施する福祉施策・環境施策等に取り組むように努めているか。</p>	<p>■府施策との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪府国際文化芸術プロジェクト」との連携（再掲） <p>■府事業への支援協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コレクションについて、府と協力して万博記念公園、モノレール駅、大阪公立大学にある外部展示作品の点検作業を実施。 <p>・大阪府の委託事業者が制作、運営しているバーチャルミュージアムについて、資料の提供、内容のチェック、作品撮影の協力、その他相談事項について、協力、補佐している。</p> <p>・12月から2月にかけて実施の3階収蔵庫の空調設備改修工事について、作品の移動や、その他作業に必要なスペースの確保など、協力している。</p> <p>■知的障がい者等の現場就業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障がい者雇用については、直接雇用の実現に向けて、近隣の放課後等デイサービスや就労支援B型事業所を運営している会社と連携して就労移行支援（無償）を2024年2月から毎月実施している。その中で高校を卒業した1名は有償で従事しており、今後、常用雇用につなげていきたい。 	B	<p>・府が実施する様々な事業と連携し、展覧会やワークショップを実施できている。</p> <p>・知的障がい者の現場雇用について、まだ提案時に示された条件の雇用（週30時間以上、各種保険加入）には達していない。ただし、1日単位での雇用を行うことができている。障がい者本人の意向等を尊重しつつ、提案時の条件での雇用となるよう、引き続き取り組んでいきたい。</p>	C	<p>・障がい者雇用について、常用雇用には至っていないが、取組については一定評価できる。段階を踏んで、就労機会の創出に努めていきたい。</p>

II さらなるサービスの向上に関する事項	<p>(1) 利用者満足度調査（アンケート調査）等</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート等による利用者の意見の把握状況 アンケート結果等の運営への反映状況 	<p>■様々な方法でアンケートを実施しているか。また、収集した情報を分析し、フィードバックに努めているか。</p> <p>【目標値（再掲）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 450 以上。 アンケートの結果 プラス評価 80%以上。 ◇貸館関連アンケート有効回答数 90 以上。 アンケートの結果 プラス評価 80%以上。 ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数参加者の 8 割以上。 アンケートの結果 プラス評価 80%以上 <p>【アンケート方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 館内アンケートボックス（記述式のアンケートを情報コーナー、窓口等に設置） イ QRコードによるWEBアンケート ウ 窓口での聞き取り調査 エ イベント等でのアンケートの実施 	<p>■アンケートの実施、情報分析、フィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的ルーム、展示室利用者や、ワークショップ、イベント参加者、来館者にアンケートを実施。特に自由記述のコメントには注意し、適宜運営に反映をしている。 ・問い合わせの多い質問については、HP に FAQ として掲載している。 <p>【実績値（再掲）】12 月末現在（ ）内は、目標値</p> <p><利用者満足度調査（アンケート）関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇主催展覧会関連アンケート有効回答数 912（450 以上） 達成率：203% アンケートの結果 プラス評価 94%(80%以上) ◇貸館関連アンケート有効回答数 100（90 以上） 達成率：111% アンケートの結果 プラス評価 96%(80%以上) ◇子どもを対象としたイベント関連アンケート有効回答数 達成率：78% （参加者の 8 割以上） アンケートの結果 プラス評価 94%（80%以上） <p>【アンケート方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート方法は、フィードバックするために経年の変化・比較が必要となるため、従来の方法に準じ実施している。 	A	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、府が実施する福祉施策や環境施策等との連携に取り組んでいただきたい。 <p>・アンケートを実施し、HP に FAQ を作成し、フィードバックに努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主催展覧会関連アンケート」については、有効回答数、プラス評価ともに目標値を上回っている。 ・「貸館関連アンケート」については、有効回答数、プラス評価ともに目標値を上回っている。 ・「子どもを対象としたイベント関連アンケート」については、有効回答数は目標値と同程度であり、プラス評価については上回っている。 	A	
	<p>(2) その他創意工夫</p> <p><評価基準とすべき事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他指定管理者によるサービス向上につながる取り組み、創意工夫 	<p>■その他、サービス向上につながる取り組み、創意工夫に努めているか。</p>	<p>■その他、サービス向上の取り組み、創意工夫</p> <p>「気軽に来館できる施設づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々がよく集まる地下フリースペースによしもと所属アーティストの作品でオリジナル塗り絵を作成し、来館の子どもたちにアートに触れ合う機会を創出している。 また、60 インチの大型モニターでは、enoco の歴史や開催イベント、企画展、大阪府「子ども 110 番・5 つの約束」を子どもたちにわかりやすくクレイアニメで制作し放映、紹介している。 ・利用者との日々の会話や貸室利用アンケートの中から意見やニーズを積極的に拾い、利用しやすい運営方法の改善に日々努めている。 ・利用率が低い多目的室(ルーム 6)の利用向上の為、 <ul style="list-style-type: none"> ①アーティスト・イン・レジデンスでの作家への制作場所提供 ②子どもへの自習室(子どもミートルーム)として利用案内をし、場所の有効活用を行っている。 ・子どもミートルームでは、子どもたちが入りやすいように季節に応じたカレンダーのデザイン作成や案内板をカラフルにするなど、子どもの目線にあわせた工夫を行っている。 ・7月の七夕に向けて、エントランスに笹を設置。ペンと短冊を用意して、来館者が願い事を自由に飾れるよう手配。たくさんの短冊が飾られた。 ・8月には、子どもミートルームの夏休み特別企画「子どもぬりえルーム」をルーム 6 で開催。のびのびと自由にぬりえができる空間を提供した。また、福祉施設などにご協力いただき、「エノコ de 縁日」を屋外北側エリアに実施。 ・週末、SNS にて次週の多目的ルームの空き状況を投稿している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕の短冊設置や、「子どもぬりえルーム」、「エノコ de 縁日」など、気軽に来館できる取り組みが実施できている。 ・次年度以降も、来館者が増加するような仕掛けやサービス向上につながるような取り組みを実施していただきたい。 	A	

Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、的確性及び実現の程度 <評価基準とすべき事項> ・事業収支の計画に対する妥当性	<p>■収支の改善に努めるとともに、適正に事業を実施しているか</p> <p>【目標値】 (収入) ◇貸館収入：23,060 千円 ◇事業収入：1,500 千円 (支出) ◇事業費(カフェ・物販除く)：8,100 千円 ◇広告宣伝費：3,050 千円</p> <p>※収支報告の際は、「所蔵作品活用事業費」と「主催・共催事業費」を個別に算出して報告すること。</p>	<p>■収支の改善努力</p> <p>・企画展「くりかえしとつみかさね2」について、文化庁の助成金に採択されてコストが補填され、収支の改善につながった。 ・本社勤務の職員が取り組んでいた業務を、enoco 常駐スタッフが行うことで、人件費の削減につながった。</p> <p>【実績値】12月末現在()内は、目標値) (収入) ◇貸館収入：16,740 千円 (23,060 千円) 達成率：73% ◇事業収入：1,170 千円 (1,500 千円) 達成率：79% (支出) ◇事業費(カフェ・物販除く)：8,133 千円 (8,100 千円) 消費率：100% ◇広告宣伝費：763 千円 (3,050 千円) 消費率：25%</p> <p>【今年度(1月～3月)の貸館予約状況】 (収入(予定)) ◇貸館収入：約4,700 千円</p>	A	<p>・貸館収入については、目標値に対し9割程度と見込まれている。また、支出については目標値を上回る見込みである。次年度については、今年度の実績を精査し、収支計画を立て、総収入の範囲内にて事業を実施していただきたい。</p>	B	<p>・収支状況については、今年度は空調工事の影響で運転を停止していた期間があるため、根本的な収支改善がされているのか見極めが必要。引き続き収支改善に努めていただきたい。</p>
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力 <評価基準とすべき事項> ・事業実施に必要な人員数の確保・配置 ・事業実施に必要な人材(要資格者や専門性・技術を要する職員等)の確保・配置 ・従事者への管理監督体制・責任体制 ・従事者への研修実施の状況	<p>■事業実施に必要な人員数の確保・運営体制・配置になっているか。</p> <p>■従事者への管理監督体制・責任体制は妥当であるか。</p> <p>■職員研修は十分に行われているか。</p>	<p>■必要な人員数の確保・運営体制・配置</p> <p>・学芸員業務を補助するため1名サポート要員を採用した。またデザイン制作や受付、運営などセンター全般の補佐業務をってもらうサポート要員も別途1名採用し、運営体制を整えている。</p> <p>■従事者への管理監督体制・責任体制</p> <p>・開館時間内は、最低2名が事務所に勤務し、来館者対応が出来る体制を整えるとともに、すべての業務に関して職員・スタッフが相互に補完し合えるよう、マルチスタッフ化を図り運営をしている。</p> <p>■職員研修</p> <p>・職員研修としてコンプライアンス研修を3回実施しスタッフの人権意識の向上および社会人としての意識の向上に努めた。(再掲) 今年度内に2度目の消防訓練を実施予定。</p>	A	<p>・十分な人員を確保し、適切に配置することで運営体制を構築している。また、職員研修も実施できている。 ・引き続き、安定的な運営を継続していただきたい。</p>	A	
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤 <評価基準とすべき事項> ・法人の経営状況	<p>■共同事業体の経営状況、経営規模、健全な財務状況等が確認できるか。(財務諸表により確認)</p>	<p>■共同事業体の経営状況、経営規模、財務状況は、施設運営を担う上で問題のない状況で安定している。</p>	A	<p>・安定的な経営基盤を築いている。</p>	A	<p>・提供のあった財務諸表等から、運営上の問題は発見できない。</p>

<各項目評価の基準>
S 計画を上回る優良な実施状況
A 計画どおりの良好な実施状況
B 計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況
C 改善を要する実施状況

<年度評価の基準>
S 項目ごとの評価のうちSが5割以上で、B・Cがない。
A 項目ごとの評価のうちBが2割未満で、Cがない。
B S・A・C以外
C 項目ごとの評価のうちCが2割以上。又は、Cが2割未満であっても、文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合

<総合評価(令和7年度)及び最終評価(令和8年度)の基準>
I 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちSが5割以上で、B・Cがない。
II 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちBが3割未満で、Cがない。
III I・II・IV以外
IV 評価対象となる年度(令和4年度～当該年度)の年度評価のうちCが5割以上。ただし、評価対象期間の後半、取組状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く。

※ 総合評価がIVとなった場合には、次回の指定管理者選定時に減点措置を講じることとする。

年度評価： B

総合評価：
(最終評価)

※ 総合評価は、最終年度の前年度(令和7年度)に実施。最終評価は、最終年度(令和8年度)に実施